

かしゅうはちまんじんじゃ
賀集八幡神社

所在地：南あわじ市 賀集八幡



「桜参道」洲本市 宗白氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

賀集八幡神社は、南辺寺山の麓に鎮座し、1340年に足利尊氏の命により阿波から入島した細川師氏（ほそかわもろうじ）が神前で戦勝を祈祷したと伝えられています。三間社流造の本殿は、1631年に藩主松平忠鎮（まつだいらただしず）が建立し、県指定文化財に指定されています。

賀集八幡神社では、毎年4月第2日曜日に春祭りがとりおこなわれます。春祭りでは、十二台のだんじりがだんじり唄を奉納するため、桜並木の参道をとおり宮入します。その勇壮な姿を見ようと多くの参拝者が訪れます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

✓ 歴史がつくりだす景観

生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原IC下車、県道31号線を南下。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図